

2025年6月24日

「東北・新潟ストック効果事例マップ（2025年版）」 の発行について

一般社団法人東北経済連合会（会長：増子次郎、以下「東経連」）は、このたび、東北6県および新潟県における交通ネットワーク整備によってもたらされた「ストック効果」の事例を1枚の地図に集約した「東北・新潟ストック効果事例マップ（2025年版）」（以下、「ストック効果事例マップ」）を作成いたしましたので、お知らせいたします。

このストック効果事例マップは、道路整備による効果について、より多くの方にご理解いただくことを目的として、隔年で発行しており、今回が第4版となります。

本マップで用いている「ストック効果」とは、交通ネットワーク整備において、交通量に基づく「走行時間短縮便益」「走行経費減少便益」「交通事故減少便益」といった3つの便益（いわゆる「3便益」）では捉えきれない、多様な整備効果を表す概念です。

「ストック効果事例マップ」では、2021年に全線開通した三陸沿岸道路による釜石港の利用企業数の増加、沿線地域での新規の設備投資などの経済波及効果や、日本海沿岸東北自動車道の整備によって沿線地域で工場立地件数や製造品出荷額が増加している事例などを取り上げています。

また東経連では、「ストック効果事例マップ」のほかにも、東北6県および新潟県の交通体系をはじめ、電力・エネルギー・自然・観光の情報、さらには各港湾の航路や空港の定期路線などの最新情報を複合的に掲載した「東北・新潟プロジェクトマップ」を隔年で発行しております。

なお、いずれのマップも、政府刊行物センター（仙台市青葉区本町 3-5-22）でご購入いただけるほか、東経連 HP（<https://www.tokeiren.or.jp/>）からのお申込みも可能です。

【照会先】

（一社）東北経済連合会 経済政策グループ・遠藤 小山 TEL：022-397-9785

別紙

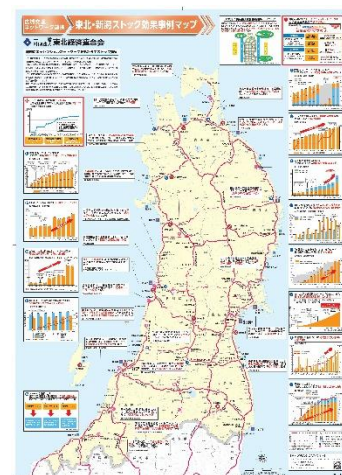
1. マップの種類

(1) 東北・新潟ストック効果事例マップ

本マップは、東北6県と新潟県における交通ネットワーク整備の進展により発現した「ストック効果」の事例を1枚の地図に集約した地図です。

「ストック効果」とは交通ネットワーク整備の事業評価における、交通量に基づいた指標である「走行時間短縮便益」、「走行経費減少便益」、「交通事故減少便益」という3便益では捉えきれない、多様な整備効果を示すものであり、社会資本整備が地域にもたらした具体的な経済・社会的効果を紹介しています。

※最新版：2025年発行版



【サイズ】728×1030mm

(2) 東北・新潟プロジェクトマップ

本マップは、東北6県と新潟県内の交通体系をはじめ、電力・エネルギー・自然・観光、さらには各港湾の航路や空港の定期路線等の最新情報を複合的に掲載した地図です。

特に地域間連携に欠かせない道路に関しては最新の整備状況に加え、今後開通が期待される「基本計画区間」も反映し、将来の交通ネットワーク像を俯瞰することが可能となっています。

※最新版：2024年発行版



【サイズ】728×1030mm

2. 購入方法について

政府刊行物センター（仙台市青葉区本町 3-5-22）でご購入いただけるほか、東経連 HP（<https://www.tokeiren.or.jp/>）からもお申し込みいただけます

3. 購入価格について

各マップとも 1,100 円/枚（消費税込み、送料別）